

新宮山彦ぐるーぷ第2183回

深仙宿避難小屋の窓増設工事など

◇実施日 6月1日(水)

晴のち曇

◇参加者 沖崎吉信、松本吉殖、阪口秩臣、中前偉、梶野照雄

5名

昨年の10月に深仙宿避難小屋の南側に窓サッシを取り付け、内壁を切り取る作業を残すのみになっていた。今日は壁の合板を切り、隙間の処理をして窓の完成を目指す。同時に点灯しないLED照明の修理と、奥駈道の段差にハシゴを取り付ける予定だ。



登りだす

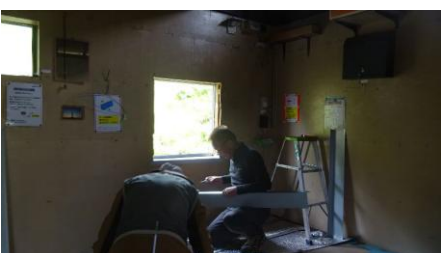
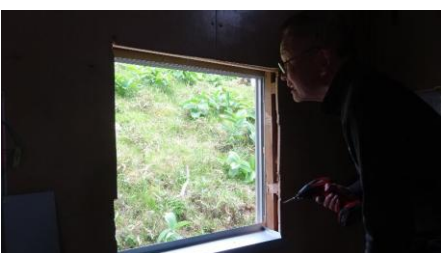
役場職員と出会う

深仙宿に到着

午前9時に登山口を出発、不動木屋登山道分岐まで来ると十津川村役場の女性職員が案内標識を取り付けていた。この付近で遭難騒ぎ

があったので、わかりやすい案内を取り付けに一人で登ってきたそうだ。登山口に設置したカウンターによると、年間6000人程が通過しているらしい。

古田の森と千丈平で休憩して深仙宿へ向かう。深仙宿へ下る途中で赤井谷の方から二人連れが息を切らして登ってきた。どうやら途中で直進し、コースを逸脱したようだ。「上の方から声が聞こえたので登ってきた」と話していた。深仙宿から千丈平へ登る場合、間違えるところは一ヶ所のみ。木や石を置いたりロープを張ったりして間違わない工夫はしていたが、木やロープは無くなっていて足元だけを見て歩くと自然に間違った方向に進んでしまう。応急処置でテープを2ヶ所に巻いた。



内壁を切る

切り抜き終了

隙間の板金工作

深仙宿に着いて手早く昼食を摂る。昼食後すぐ窓工事にかかる。内壁の合板をノコで切り、窓の大きさに合わせて穴をあける。沖崎さんと中前さんは聖天の森に碑伝を置きに行った。

穴が開いた後、壁の隙間の処理は松本さんの独壇場だ。



ソーラーパネル

断線していた

掃除中

窓工事が続いているので、ソーラー発電の状態を調べる。テスターで電圧を計ってみたがバッテリーは0・8ボルト、ソーラーパネルからはゼロボルトだった。ソーラーパネル側に原因があるようなので外に出て南側の斜面からソーラーパネルを観察した。ソーラーパネルから出ているコードが断線しているようだ。屋根に登ってみようとしてハシゴを出してきたが、真ん中で折れて断念した。

沖崎さんと中前さんがお堂横から4m位の板を2枚持ってきて、それにハシゴを沿わせて屋根に登れという。あまり気は進まなかったが、「しっかり押さえてるから」と言われて、なんとか屋根に登った。近くで調べるとコードは一ヶ所で切れていた。照明が点灯しない原因はこれであろうと思われるが、あいにくコードは準備していないので次回、脚立とコードなどをもって修理する予定だ。持ってきたバッテリーはお堂に置いた。

窓の穴あけに手間取り、午後2時が近くなってきた。奥駈道のハシゴ取り付けは中止し、ハシゴはお堂にデポした。窓の増設工事は終わり小屋内を掃除する。南側に窓が出来たので小屋内は大変明るくなった。南北の窓を開ければ風通しが良くなるので、煙の排出も期待できる。



本日の参加者

大日岳

下山完了

午後2時過ぎ、作業を終えて深仙宿を離れる。千丈平に着いたが先行した松本さんと阪口さんの姿がない。先に行ったと思いきや3人でゆっくり休憩した。そろそろ歩き出そうとしていると、下の方からバイクイソウの中を松本さんが登ってきた。あのテープを付けた地点で違う方向に進んだらしい。途中から千丈平へ上がってきたようだ。道迷いが確実なあの場所に、次回は何かの方策を講じたいと思う。

午後5時過ぎ登山口に下山、残っていた車は我々の3台以外には一台だけだった。

(記：梶野)

行動タイム

09:00 太尾登山口→09:38 不動木屋登山道分岐→11:02 千丈平→
11:48 深仙宿 14:12→15:54 千丈平→15:54 古田の森→16:33
不動木屋登山道分岐→17:09 太尾登山口